

《履修証明プログラム 開講時間割表（2022年度前期4月～8月）》 ※時間割は予定のため変更となる場合があります。

■ = 実習の各コース共通科目 ■ = 講義の各コース共通科目 ■ = 陶芸 ■ = ガラス

曜日	分野別 コース別	9:00	10:30	10:40	12:10		13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	17:50
		1		2		昼休み	3		4		5	
月	ガラス						①ステンドグラス演習 (中級者～上級者) [22.5時間]<9601>					
	陶芸								②釉薬技法演習 (中級者～上級者) [22.5時間]<9601>			
火	ガラス		③クラフト特別演習 (上級者)[45時間] <9601>					④クラフト基礎実習 (初級者)[45時間] <9601>				
	陶芸											
水	ガラス		⑤クラフト実習B (初級者～中級者) [45時間]<9601>									
	陶芸											
木	ガラス		⑥ガラス・陶磁器演習B (中級者～上級者) [67.5時間]<9601>									
	陶芸											
	講義										⑦工芸史 [22.5時間]<1105>	
金	講義						⑧アート・クラフト概論 [22.5時間]<1225>					

※[]内の時間は、15週の総時間数です。

【開講科目】

①ステンドグラス演習	※詳しい授業内容については、本学ポータル(https://portal.kobe-du.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp)から、ゲストユーザーとして「シラバス」をご参照ください。
②釉薬技法演習	
③クラフト特別演習	
④クラフト基礎実習	
⑤クラフト実習B	
⑥ガラス・陶磁器演習B	
⑦工芸史	
⑧アート・クラフト概論	

【履修コース組み立てに当たっての注意点】

- 1プログラム、120時間以上になるように授業を選択してください。授業は毎週行われ、半期期間中、15回行われます。
- 受講者は個人のレベルを、おおむね3段階《初級者》《中級者》《上級者》を目安に組み立ててください。
- 1プログラムが完了した後、続けて次のプログラムに出願することが出来ます。
- クラフトの実習は、個人単位の作業です。どの時間の実習授業を選択しても担当教員は、個人のレベルに合わせた指導を行います。

【履修モデル（参考）】

《初級者の方…経験年数が少ない方》

- ◎講義から「アート・クラフト概論」「工芸史」の2講座
- ◎実習から「クラフト基礎実習」「クラフト実習B」の2講座

《中級者…工芸系専門の高等学校または、カルチャーセンター等で実技を経験した方》

- ◎講義から「アート・クラフト概論」「工芸史」の2講座
- ◎実習から「ステンドグラス演習」「釉薬技法演習」「クラフト実習B」「ガラス・陶磁器演習B」を中心に4講座

《上級者…4年制の専門大学または専門学校等で実技習得した方》

- ◎講義から「アート・クラフト概論」「工芸史」の2講座
 - ◎実習から「ステンドグラス演習」「クラフト特別演習」「クラフト実習B」「ガラス・陶磁器演習B」を中心に4講座
-